

山本 晴子 プログラム・スーパーバイザー (PS) からのメッセージ

本事業は、明確な医療ニーズがあるにも拘らず、例えば「患者数が少ない」、「異なる業種の連携が必要」といった理由等から、単独のアカデミアや企業では取り組みにくい領域に光を当て、産学官の協力によって革新的な医薬品や医療機器を生み出すことを目的として、2022年度から開始されました。特に「非競争領域」で「産学官」が協力してプラットフォームを構築し研究をすすめ、その成果を広く社会に提供し、「競争領域」で誰もがそれを共有・利用できるようにすることを期待する事業です。

2023年度からは「アカデミアタイプ」に加えて「スタートアップタイプ」も開始され、優れたアイデアを持つ若い科学者や技術者を擁する国内スタートアップ企業もつ新たなイノベーションの種を見出し、小さな芽を育て、大きな花を咲かせる一助となるべく、支援しています。

本事業の開始以来最も重視されてきたことは「シーズ」と「ニーズ」のバランスです。優れた研究は、優れた「シーズ」に支えられることが必須ですが、社会や医療現場での「ニーズ」に基づいてこそ、その成果は実を結び、真に必要とされる技術に成長します。応募を考えている皆様には、「この研究は本当に社会や医療現場から求められているのか」という問いを大切にしていきたい。また、「この研究成果が社会に還元された未来は、こんなふうになる」という具体的展望をもち、その展望を皆で共有できるような研究体制を構築していきたいと思えます。

6回目となる今回の公募では、これまでも増して、医療ニーズ、革新性、国際競争力といった本事業の趣旨に整合した課題を期待します。AMEDの担当部署とPS、PO、PCは、研究者のパートナーとして、採択された課題が最大の成果を発揮できるように、引き続き様々な方向から支援して参ります。

最後に、各自のアイデアを存分に活かし、協力し合いながら、優れたシーズとニーズの融合を追求していただければ幸いです。皆様の挑戦が、未来の医療を変える原動力になることを期待しています。

国立循環器病研究センター 理事／臨床研究推進センター長
山本 晴子